

# 2020年3月期第3四半期 決算補足説明資料

---

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2020年2月13日

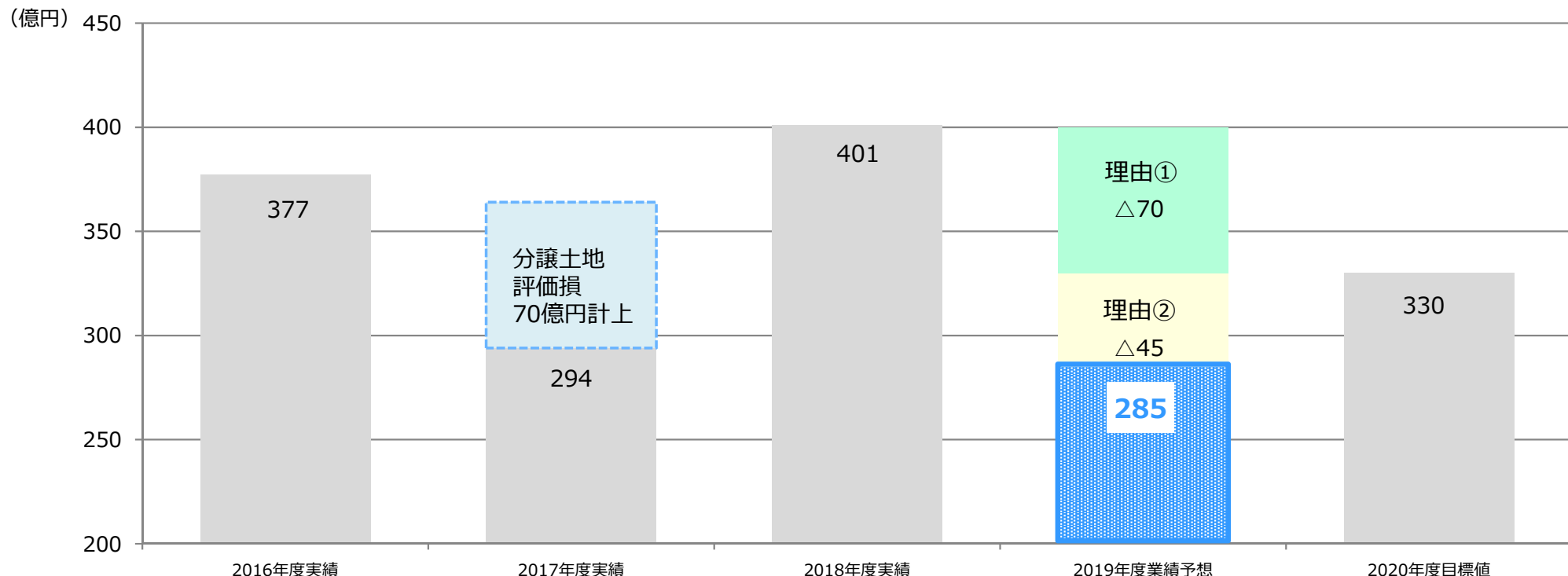
<https://www.keikyu.co.jp>

- ◆ 不動産事業において、分譲マンションの売上加え、マンション事業計画用地の売却などにより増収
- ◆ 退職給付費用の増加に伴う人件費の増加ならびに交通事業における減価償却費および広告宣伝費の増加などにより減益

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
営業収益	237,817	239,159	1,341	0.6
営業利益	29,823	28,057	△1,765	△5.9
経常利益	27,936	26,338	△1,597	△5.7
特別利益	1,140	885	△255	△22.4
特別損失	1,286	2,306	1,020	79.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19,322	17,093	△2,228	△11.5

# 2019年度業績予想における営業利益・費用について



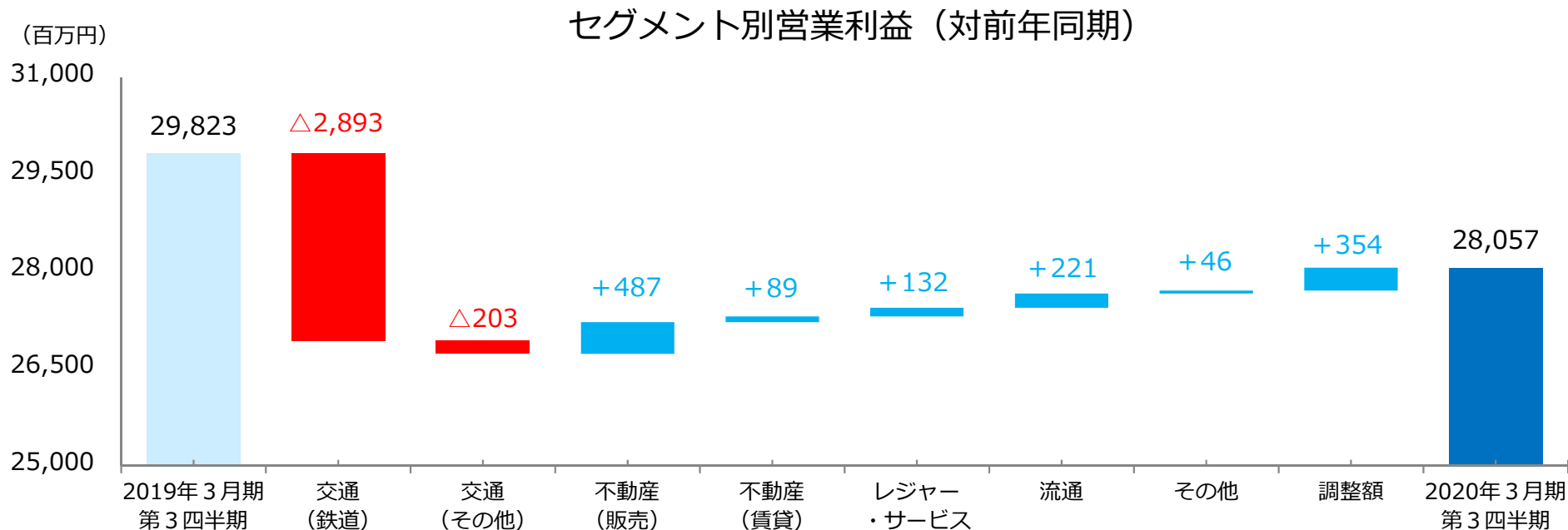
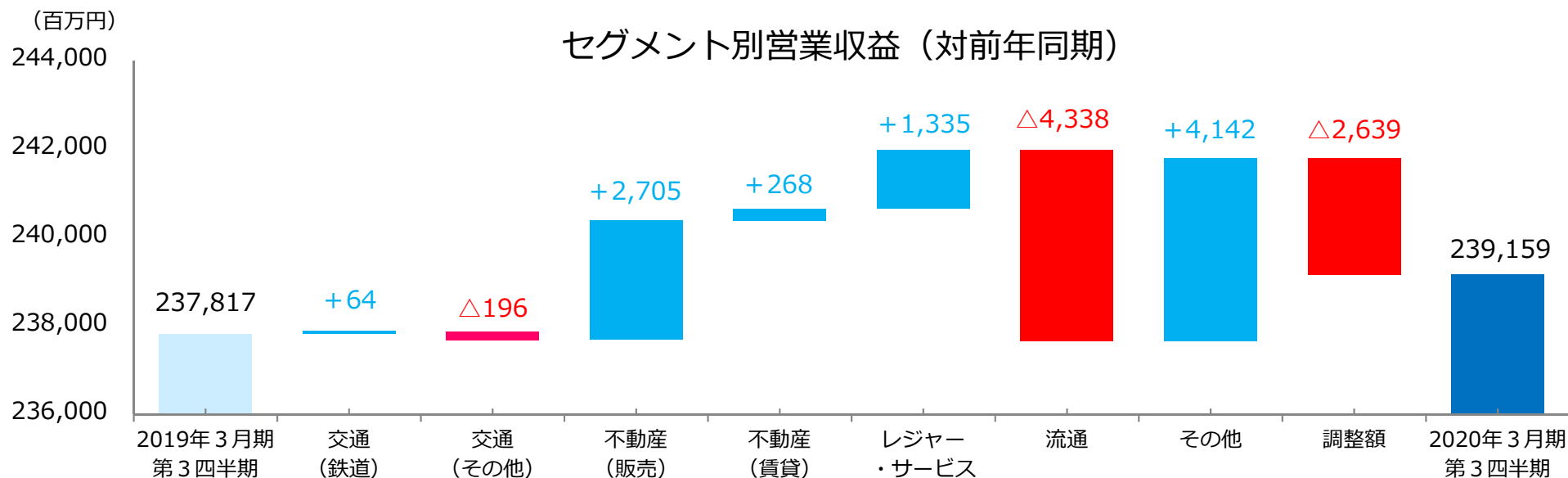
<費用等の発生状況および発生値（カッコ内の数値は、2019年度計上費用）>

	理由①（継続的要因）	理由②（2019年度のみの一時的要因）
	加算運賃引下げ（△15） ⇒半分程度発生。	プライムパークス品川シーサイド ザ・タワーの2018年度の販売好調分等（△30）⇒4Qに前年の反動があるため、未発生。
	ホームドア、新本社ビル等の減価償却費（△15） ⇒2/3程度発生。	加算運賃引下げに関する広告宣伝費（△10） ⇒1/3程度発生。4Qも広告宣伝費などが発生。
	退職給付費用（△15） ⇒3/4程度（毎四半期均等発生）	本社移転費用（△10） ⇒1/3程度発生。
	開発検討調査費用（△10） ⇒1/3程度発生。	その他経費等（+5） ⇒ごく少額発生。
	その他経費等（△15） ⇒1/3程度発生。	
合計	△70 ⇒半分程度発生。	△45 ⇒10億円弱程度発生。

(単位：百万円)

		2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
交通事業	営業収益	94,265	94,133	△132	△0.1
	営業利益	16,985	13,887	△3,097	△18.2
不動産事業	営業収益	35,767	38,741	2,974	8.3
	営業利益	4,983	5,560	576	11.6
レジャー・サービス事業	営業収益	28,560	29,896	1,335	4.7
	営業利益	5,479	5,612	132	2.4
流通事業	営業収益	80,970	76,632	△4,338	△5.4
	営業利益	2,028	2,249	221	10.9
その他	営業収益	30,655	34,798	4,142	13.5
	営業利益	1,205	1,252	46	3.9
合計	営業収益	270,220	274,201	3,981	1.5
	営業利益	30,682	28,562	△2,120	△6.9
調整額	営業収益	△32,403	△35,042	△2,639	—
	営業利益	△859	△504	354	—
連結損益計算書 計上額	営業収益	237,817	239,159	1,341	0.6
	営業利益	29,823	28,057	△1,765	△5.9

# (参考) セグメント別営業収益・営業利益の増減



## ◆ 鉄道事業

### <営業収益>

定期外において下記要因により、減収となったものの、定期において消費税増税前の定期券の先買いがあったことなどにより増収

- + 定期：消費税増税前の定期券の先買いによる影響、  
都心方面の輸送人員の増加に伴う旅客運輸収入の増加
- その他：運輸雑収の増加
- 定期外：10月から実施した空港線の加算運賃引下げおよび台風第19号などによる  
旅客運輸収入の減少

### <営業利益>

退職給付費用、減価償却費および広告宣伝費が増加したことなどにより減益

◆ バス事業において、一部路線の廃止などにより減収、減価償却費が増加したことなどにより減益

◆ タクシー事業において、車両の稼働率が減少したことなどにより減収減益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
交通事業計	94,265	94,133	△132	△0.1	16,985	13,887	△3,097	△18.2
鉄道事業	64,700	64,764	64	0.1	15,074	12,180	△2,893	△19.2
バス事業	26,217	26,129	△88	△0.3	1,889	1,724	△165	△8.8
タクシー事業	3,347	3,239	△108	△3.2	21	△17	△38	—

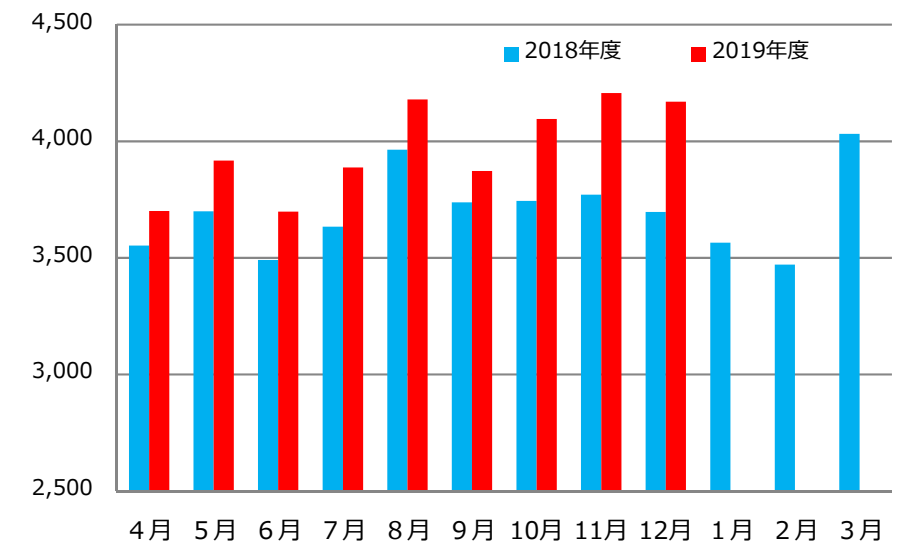
## <鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

		輸送人員 (千人)				旅客運輸収入 (百万円)			
		2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減	増減率 (%)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
合	定期	202,403	206,403	4,000	2.0	24,022	24,285	262	1.1
	定期外	162,303	165,091	2,788	1.7	38,297	37,965	△331	△0.9
	合計	364,706	371,494	6,788	1.9	62,320	62,251	△69	△0.1

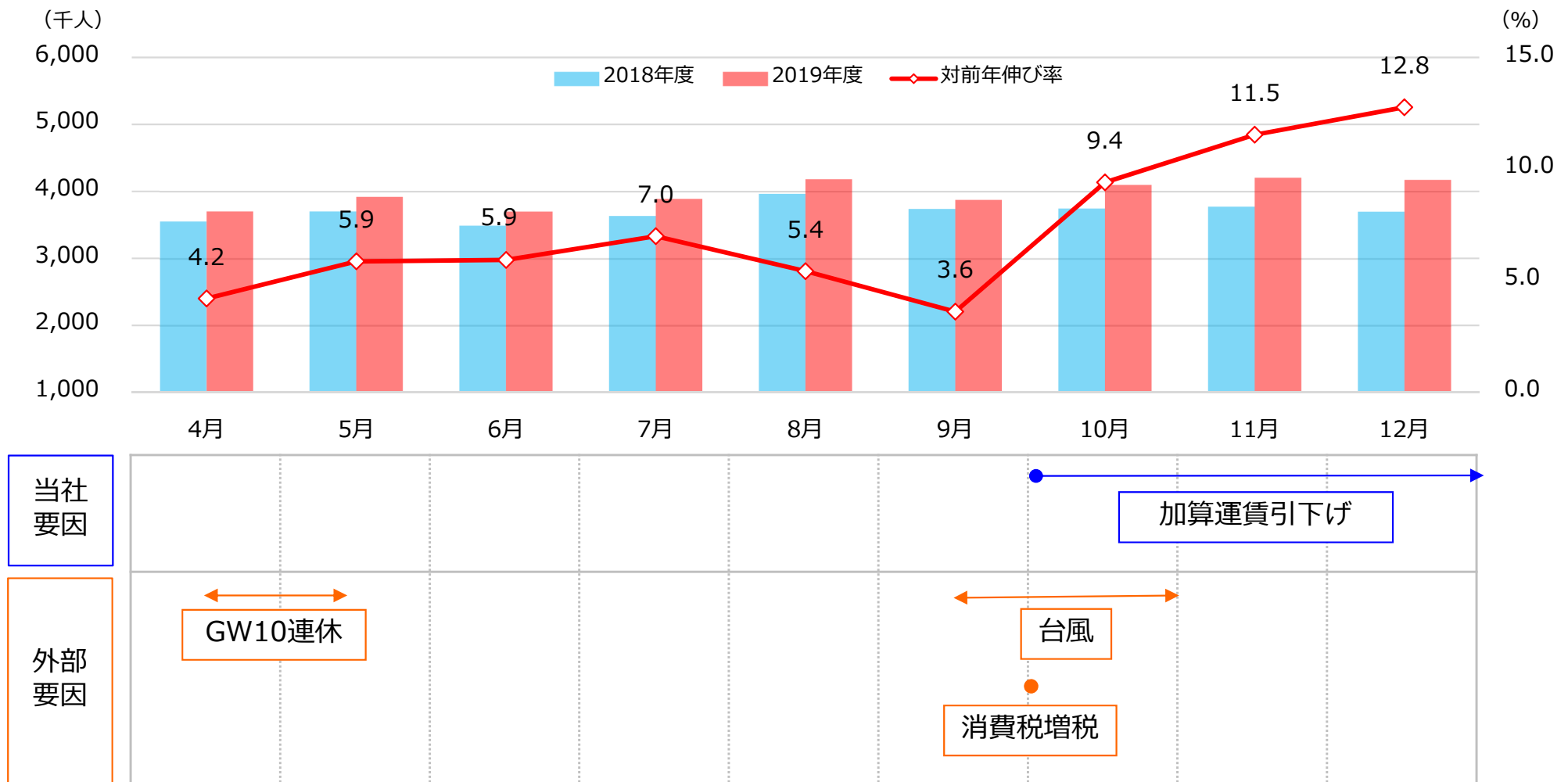
## <羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

		輸送人員 (千人)			
		2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減	増減率 (%)
合	定期	5,715	6,357	642	11.2
	定期外	27,577	29,370	1,793	6.5
	合計	33,292	35,727	2,435	7.3

羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の月別輸送人員推移 (千人)



## ◆羽田空港 2 駅の加算運賃引下げ後の輸送人員の推移



## ◆加算運賃引下げによる影響検証

<対前年>

2019年9月までのトレンド（平均対前年5.3pt増）に比べ、10月以降は平均対前年11.2pt増（5.9pt上昇）と増加幅は大きくなっている。

<対計画>

当社の想定の範囲内に収まり、概ね計画どおりに推移している。



- ◆ 不動産販売業において、分譲マンションの売上に加え、マンション事業計画用地の売却などにより増収増益
- ◆ 不動産賃貸業において、賃貸建物が順調に稼働したことなどにより増収増益

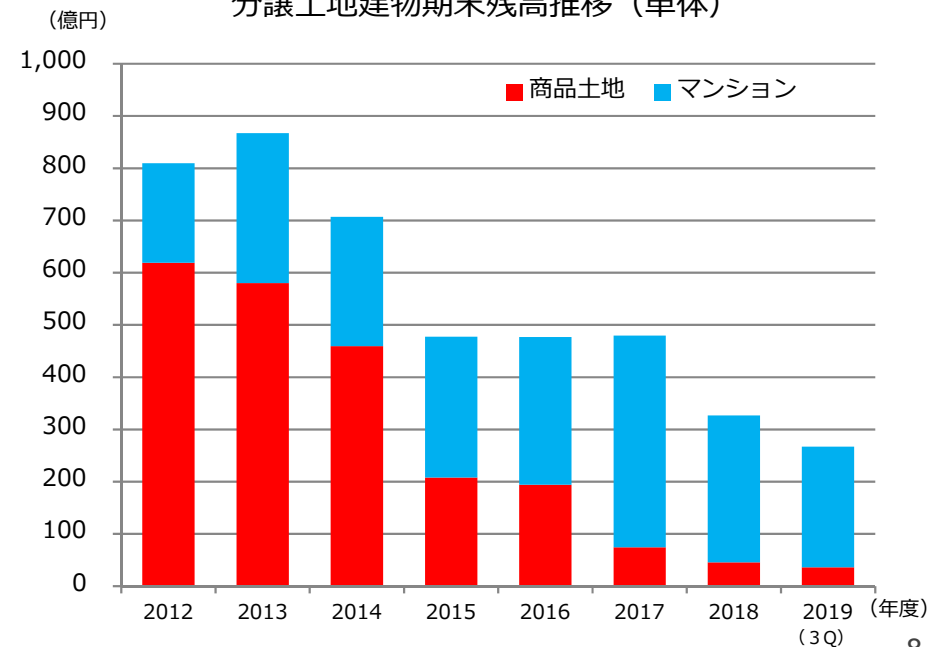
(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
不動産事業計	35,767	38,741	2,974	8.3	4,983	5,560	576	11.6
不動産販売業	20,232	22,938	2,705	13.4	388	875	487	125.4
不動産賃貸業	15,534	15,803	268	1.7	4,595	4,685	89	1.9

マンション、宅地・戸建て販売戸数・区画数 (単位：戸・区画)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減
マンション分譲	668	219	△449
(持分換算後)	284	114	△170
宅地・戸建て	52	129	77

分譲土地建物期末残高推移 (単体)



- ◆ ビジネスホテル業において、前期および今期に開業した新館が寄与したことなどにより増収となったものの、人件費および新館開業に伴う費用等が増加したことなどにより減益
- ◆ レジャー関連施設業において、前期にリニューアルした天然温泉平和島が順調に推移したことなどにより増収増益
- ◆ レジャーその他において、広告受注等の増加などにより増収増益

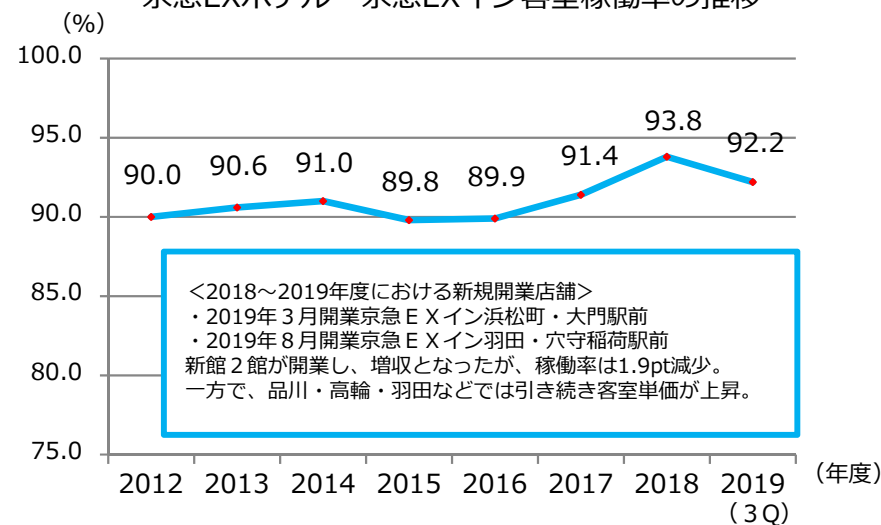
(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
レジャー・サービス事業計	28,560	29,896	1,335	4.7	5,479	5,612	132	2.4
ビジネスホテル業	8,235	8,723	487	5.9	2,350	2,273	△76	△3.3
レジャー関連施設業	9,718	10,106	388	4.0	1,814	1,986	171	9.5
レジャーその他	10,606	11,066	459	4.3	1,314	1,352	37	2.9

## 京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減
客室稼働率	94.1%	92.2%	△1.9pt

## 京急EXホテル・京急EXイン客室稼働率の推移



## 当社ビジネスホテル業を取り巻く環境について

当社のインバウンド比率は高くはないものの、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、国内においても予約取消しの増加などの影響が徐々に始まっており、今後の渡航規制強化や国内における出控えを懸念。

- ◆ 百貨店業において、食品・婦人服の不調、外商の減少などにより減収となったものの、営業利益はほぼ前年どおり。
- ◆ SC業において、前期に耐震補強工事に伴い休業していた店舗（ウイング新橋）が通期稼働したことなどにより増収増益
- ◆ スーパーマーケット業において、前期に閉店した店舗（京急ストア サニーマート店等）の影響などにより減収となったものの、前期に(株)京急ストアでのれんの減損処理を行ったことによるのれん償却額の減少などにより増益
- ◆ コンビニ・物販業において、平和島駅の耐震補強工事に伴うセブンイレブン店舗の休業などにより減収減益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
流通事業計	80,970	76,632	△4,338	△5.4	2,028	2,249	221	10.9
百貨店・SC業	27,445	26,777	△668	△2.4	410	605	194	47.4
百貨店業	25,257	24,072	△1,184	△4.7	104	191	87	83.4
S C 業 ※(旧)流通その他	2,188	2,704	516	23.6	306	414	107	35.2
ストア業	53,525	49,854	△3,670	△6.9	1,617	1,644	26	1.6
スーパーマーケット業	41,766	38,681	△3,085	△7.4	453	603	149	32.9
コンビニ・物販業ほか ※(旧)物品販売業	11,758	11,173	△584	△5.0	1,163	1,040	△122	△10.5

◆ 京急建設(株)および京急電機(株)が施工した工事の増加などにより増収増益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率 (%)
そ の 他 計	30,655	34,798	4,142	13.5	1,205	1,252	46	3.9

(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額	増減率(%)
営業利益	29,823	28,057	△1,765	△5.9
営業外収益	1,863	1,871	7	0.4
受取利息	56	57	1	2.0
受取配当金	770	809	39	5.1
持分法による投資利益	537	501	△35	△6.6
その他	500	502	1	0.4
営業外費用	3,751	3,589	△161	△4.3
支払利息	3,339	3,120	△219	△6.6
その他	411	469	58	14.2
経常利益	27,936	26,338	△1,597	△5.7
特別利益	1,140	885	△255	△22.4
工事負担金等受入額	484	620	135	28.0
固定資産売却益	160	253	93	58.0
投資有価証券売却益	400	-	△400	△100.0
その他	94	11	△83	△88.4
特別損失	1,286	2,306	1,020	79.4
支払補償費	-	743	743	-
固定資産圧縮損	484	620	135	28.0
固定資産除却損	-	614	614	-
減損損失	-	312	312	-
投資有価証券評価損	421	-	△421	△100.0
災害損失引当金繰入額	300	-	△300	△100.0
その他	79	14	△65	△81.5
税金等調整前四半期純利益	27,790	24,917	△2,873	△10.3

# 連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

		2019年3月期末	2020年3月期 第3四半期末	増減額
資 産	流 動 資 産	126,731	107,634	△19,096
	現金及び預金	45,742	41,256	△4,486
	受取手形及び売掛金	26,229	13,042	△13,187
	分譲土地建物	44,606	39,280	△5,326
	固 定 資 産	765,113	783,168	18,054
	有形固定資産	627,399	642,474	15,075
	投資その他の資産	131,886	134,106	2,220
	投資有価証券	77,849	78,072	223
	退職給付に係る資産	24,593	25,749	1,156
	資 産 合 計	891,844	890,803	△1,041
負 債	負 債 合 計	622,005	609,086	△12,918
	有利子負債残高※	429,849	424,122	△5,726
純 資 産 合 計	269,839	281,716	11,876	
負 債 純 資 産 合 計	891,844	890,803	△1,041	

※社債、借入金、CPの合計額

純 有 利 子 負 債 残 高	384,106	382,866	△1,240
-----------------	---------	---------	--------

本四半期決算を受け、「2020年3月期業績予想に対する進捗」および「セグメント別業績予想に対する進捗率」を記載しております。

※「2020年3月期 業績予想」は、5月に公表した業績予想から変更がないため、「2019年3月期決算補足説明資料」（2019年5月10日公表）の業績予想を参照ください。

5月予想に対する進捗は好調に推移しているものの、  
 交通事業において、台風第19号等の影響で第3四半期に実施を予定していた工事が後ろ  
 倒しとなり修繕工事費が発生することや、人件費が増加する見込みであること、  
 本資料2ページに記載のとおり、未発生が第4四半期に発生すること、  
 新型コロナウイルス感染症の影響による今後の渡航規制強化や出控え等の懸念があること、  
 などから、通期予想は5月予想を据え置く

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期実績	2020年3月期 通期予想	予想との差異	進捗率 (%)
営業収益	239,159	325,000	△85,841	73.6
営業利益	28,057	28,500	△443	98.4
経常利益	26,338	25,500	838	103.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	17,093	16,000	1,093	106.8



（単位：億円）

		2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率 (%)	2020年3月期 第3四半期	進捗率 (%)
交 通 事 業	営業収益	1,247	1,239	△8	△0.7	941	75.9
	営業利益	208	136	△72	△34.7	138	101.4
不 動 産 事 業	営業収益	699	577	△122	△17.5	387	67.0
	営業利益	84	47	△37	△44.4	55	117.0
レジャー・サービス事業	営業収益	380	383	2	0.8	298	77.8
	営業利益	63	63	0	△0.7	56	88.9
流 通 事 業	営業収益	1,065	1,044	△21	△2.1	766	73.4
	営業利益	23	28	4	18.6	22	78.6
そ の 他	営業収益	558	560	1	0.2	347	62.0
	営業利益	40	26	△14	△35.4	12	46.2
合 計	営業収益	3,951	3,803	△148	△3.8	2,742	—
	営業利益	419	300	△119	△28.6	285	—
調 整 額	営業収益	△558	△553	5	—	△350	—
	営業利益	△18	△15	3	—	△5	—
連 結 損 益 計 算 書 計 上 額	営業収益	3,392	3,250	△142	△4.2	2,391	73.6
	営業利益	401	285	△116	△29.0	280	98.2



**【ご注意】**

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**【お問い合わせ先】**

総務部 統括課 株式・I R担当

Tel 045-225-9311

E-mail [ir-keikyu\\_t7z@keikyu-group.jp](mailto:ir-keikyu_t7z@keikyu-group.jp)